

## 大人が車内の幼児に対してできること

幼児の死亡原因の第一位は交通事故で、病気や不慮の事故よりも多いです。

特に、右図のように大人に守られているはずの自動車乗車中の車内で死傷する幼児がとて多いのが現実です。

車内で、幼児を抱っこしている姿をよく見かけますが、これは大変危険です。幼児が眠っている時は全身の力が抜けており、そのときに強い衝撃を受けるとゴムボールのように飛んでしまいます。

後悔しても命は戻りません。**必ず**『幼児の乗降車は必ず大人が行う』『体格に合わせてチャイルドシートやジュニアシートを必ず着用させる』ことを守ってください。

子どもの交通事故被害状況(平成28年度・岐阜県)

		歩行中	自転車	自動車乗車中	合計
幼児		12	3	163	178
小学校	1～3年	40	15	84	139
	4～6年	16	34	82	132
中学生		19	73	59	151
合計		87	125	388	600

岐阜県警 交通事故分析統計より